

大統領新年の辞（2024 年 1 月 19 日）

※機械翻訳等を用いた仮訳

● 1

この新年のご挨拶は、単なる伝統ではなく、特別で活気に満ちた形で、挨拶を受ける側だけでなく、挨拶をする国にも敬意を表するものである。私が今日ここにいるのは、何よりもまず、国家のために尽力するあなた方の献身とその特異な性格に敬意を表するためである。

● 2

私はまた、もはや私たちとともにおらず、私たちの側で不在となっている人々に敬意を表するためにここにいる。2023 年、あなた方の 4 人の戦友が亡くなった：ギー・バルカレル曹長 (Mr.Guy Barcarel)、バティスト・ゴシヨ 2 等軍曹 (Mr.Baptiste Gauchot)、ニコラ・ラトゥール曹長 (Mr.Nicolas Latourte)、ニコラ・マジエ 2 等軍曹 (Mr.Nicolas Mazier) である。フランスは彼らに永遠に感謝しており、彼らの国家への奉仕はわが国の心に刻まれている。また、多くの兵士が負傷している。国民は、こうした日々の犠牲、究極の犠牲を認識している。私は、この記憶を継承し、彼ら一人ひとりに敬意を表し、彼らの家族、そして彼ら全員を想うために、たゆまぬ努力を続けていく。

● 3

毎年そうしているように、殉職した諸兄姉を偲ぶにあたり、私は諸兄姉に心からのご冥福をお祈りするとともに、我が軍と国家に対する信念と指針をお伝えするために参りました。1 年前、私はモン・ド・マルサン空軍基地で、2017 年に始まった防衛のための努力を継続することを可能にする軍事計画法を発表した。この法律は、前例のない方法で準備され、かつてないほど省を動員し、私はとても感謝しているが、昨年 7 月に可決された。セバスチャン・ルコルニュ軍事大臣が行った仕事に敬意を表する。軍隊の予算は、5 年間で、2 倍になる。なぜなら、私たちは今、同時多発的な危機が増加する懸念と深刻さの時代に生きていることを知っているからである。

● 4

サイバー、宇宙、海底、情報戦など、後で触れる新たな戦闘分野での対応策を練ることも含めて、あなた方は求められ、動員されているのである。このことはビュルカール陸軍大将（統合参謀総長）も承知している。ビュルカール大将、この場をお借りして、あらためてあなたへの感謝と信頼をお伝えしたいと思う。このような困難な状況の中で 2023 年を振り返ってみると、私の目には、軍隊がいかにあるべき姿でそこに存在していたかをお伝えしたい。東欧から紅海まで、中東からアフリカまで、インド太平洋でここ数日レユニオン島で行われたように。そして、このような皆さんの動員の結果、作戦地域の拡大とその複雑さに照らして、私は 2024 年を明晰に見通している。

● 5

まずウクライナだが、凍てつく冬の中、ロシアの侵略は 2 年近く続いている。戦う意志を持つことがいかに重要か、そしてロシアに勝てると思わせてはならないことを、あなたは知っているはずである。私たちヨーロッパの未来はどうなるのだろうか？冒頭から申し上げているように、我々はロシアと戦争しているわけではないが、ロシアが勝てないようにすることが我々の義務である。ロシアの勝利は、ヨーロッパの安全保障の終焉を意味する。

● 6

それは、欧州の東部国境から EU、NATO、そしてコーカサスや中央アジアを経由した欧州における安全保障アーキテクチャの可能性の終焉そのものである。だからこそ我々は、ウクライナの人々を支援し続けるのだ。大砲、防空、遠隔攻撃など、ウクライナにとって必要不可欠なあらゆる分野の訓練と装備支援を継続することで、現実的かつ具体的な方法でこれを行う。また、ドローンの大量使用によってもたらされる課題に対応するための技術革新も行っていく。これを達成するために、フランスは防衛産業と話し合う。防衛産業は戦争経済モードに入っており、言葉のみではなく、より迅速で強力な生産能力を持っている。このような状況における作戦面では、あなた方は現在、地上と空中で、欧州の東側面における再保証任務を遂行している。あなた方は北海や地中海への接近を監視する任務に従事しており、私たちがこの 2 年間で強化した信頼性をもってそれを遂行している。2022 年 2 月の数日後、これほど迅速かつ大規模に展開した軍隊は、世界のどこにもない。ルーマニアは、す

すべての同盟国と同様に、このことを受け止めており、東部戦線の同盟国に対して地上と空中での努力を維持することで、これを実現している。フランスの信頼性も私たちに義務を与えている。そして、もし我々が他の場所でより多くのことをしなければならないのであれば、そうするだろう。

● 7

アフリカでは、私が 2023 年 2 月に決定した再編成が、今夏のニジェールでの騒乱によってその必要性が確認された。この点で、サヘルにおけるフランス軍のプロフェッショナリズムと冷静さに敬意を表したい。改めて、あなた方と、あなた方とともにこの作戦に携わったすべての人々に、厳粛な感謝の意を表したいと思う。複雑な作戦であった。あなたはそれを完璧に遂行した。予定通り昨年末に完了した。10 年間、フランス軍が行ってきた仕事を誇りに思うと言える機会である。2013 年以来、フランスとそのコミットメントがなければ、マリ、ニジェール、ブルキナファソについて今日語ることはなかったであろう。なぜなら、これらの国々の主権と統一は領土カリフによって脅かされていたからである。私は、あらゆる作戦において、これらの作戦地域で互いに引き継いできた世代や、命を捧げたあなた方の戦友たちに、心から感謝している。あなた方はよくやった。私たちはテロと懸命に、そして効果的に戦ってきた。しかし、この地域における利害関係は変化している。したがって、われわれは引き続き自国の利益を守っていくが、よりパートナーシップに基づいたバランスの取れた方法でそれを行っていく。私たちは、駐留を減らし、露出を減らし、軽量で可逆的なシステムを備え、より多くの訓練を行い、より多くのアドホックな協力や対話を行う軍隊を持つことになるであろう。そして、あなた方の戦友たちは、決意と知性と効率性をもって、すでにこれらのガイドラインを実施している。フランスは離脱しているのではなく、脅威の変化、地域構造の変化、アフリカのパートナーの意思に適応するために再編成しているのである。パートナーといっても、私たちの使命は決して軍隊や主権を奪うことではない。

● 8

来年を展望すると、私は当然、イスラエルとパレスチナの危機、10 月 7 日のテロリストの蛮行とハマスの計り知れない責任、ガザにおける人道的悲劇、そしてハマスによってあまりにも長い間拘束されている人質のことも考えている。すべての人のための平和と安全のためのフランスのイニシアチブは、安全保障、人道、政治という 3 つの柱に基づいており、

これらの柱が私たちの断固とした行動の指針となっている。我々は、紛争で負傷した人々、特に子どもたちの支援に直接介入した最初の欧州諸国である。強襲揚陸艦ディクスミュードは、1000人以上のパレスチナ人を乗せ、120人以上の重傷者を治療することができた。エジプトのおかげで、重要な人道的貨物を輸送することができた。数日前には、ヨルダンとともに、ガザに直接パラシュートで救援物資を輸送した。カタールとも連携し、人質のために医薬品を送っており、今後もこうした行動を続けていくつもりである。西側諸国の中で、これほど多くのことをしている国は他にない。これほど多くの活動パートナーが現地に存在し、目に見える形で存在感を示すことで、私たちは民間人のために役割を果たすことができるだけでなく、フランスは、私が述べたような政治的解決策を構築するために不可欠な外交的信頼性も有している。ですから、私たちはこうした行動を続けていくつもりである。

● 9

ガザの市民が必要としているものであり、地域全体が行動を組織し続け、私たちを頼りにできることを知っている。このような地域的な背景のもと、レバノンでは今この瞬間にも、700人以上の同志が UNIFIL に参加している。フランスは、友好国であるレバノンに戦火が広がるのを防ぐために行動を起こしている。ここでも、私たちは軍事的プレゼンスと外交的行動を通じて、この役割を果たし続ける。

● 10

紅海では、フランスは戦略的な利害関係が高い海域で航行の自由を守るために行動を起こしている。マルチミッションフリゲート艦 (FREMM) ラングドックは、ホーシ派のミサイルや無人偵察機に対して砲撃を開始したが、これは揺るぎない決意の表れである。私たちは早くからそこにいた。私が話しているように、それは効果的である。しかしそれは、安易な連携や性急な宣言などなしに、フランスが主権的なやり方で決定している枠組みの中で行われている。また、私は、今後数ヶ月間、インド太平洋における緊張が私たちに直接関係することを知らないわけではない。

● 11

2018 年以来、我々はオーストラリアからインド、日本、アラブ首長国連邦に至るまで、本格的な戦略を打ち出してきた。私たちはそれを推進させ、ヨーロッパのパートナーとも強化させてきた。しかし、私たちはまた、自国の領土に根ざした、いわば統合も行ってきた。ニューカレドニアを訪問した際、私はこの戦略が実際に行われているのを目の当たりにし、空軍のペガーズ作戦に遭遇した。ペガーズ作戦は、48 時間でオセアニアまで戦闘機を派遣する能力を示し、フランスの主権があらゆる場所で行使できることを示した。ここでは、網羅的なリストは割愛する。バルカン半島とアルメニアは、私たちの注目の的であり、私たちが姿勢を強め、歴史的な選択をするきっかけとなった国である。いかなる場合においても、同盟関係の強化とパートナーシップの模索は、欧州における NATO および EU との行動指針であり続けるだけでなく、昨年 12 月にヌメアで開催された南太平洋国防大臣会合が成功裏に築かれたように、特に海外における戦略的パートナーシップを通じての行動指針でもある。これは、フランスが招待国となった前例のない形式であり、インド太平洋における共同パートナーシップの数を増やすことを可能にした。

● 12

我が国の領土の安全保障について触れたいと思う。ここシェルブールで、私たちは皆、安全保障アプローチが何を意味するのかを知っている。先ほど、海洋知事と海洋総局（SGMer）と一緒にいた。また、首相の権限の下、海上での国家活動の一環として困難な任務を遂行する人々に一言述べたい。私は心から感謝し、この必要不可欠な仕事に敬意を表したいと思う。マフィアのネットワークに搾取された貧しい人々を、時には夢物語を追い求めるために命を危険にさらすような大きな移民圧力に直面し、厳しい環境の中で、フランス本土の他のどこよりも、皆さんは海上で人命を救うという任務に直面している。あなた方がここで行っていることは、私たちの主権と、国際法、人道法、海洋法の尊重にとって不可欠なことであり、私はあなた方を全面的に支持する。私たちは、フランスと海外領土でこの任務を継続する。あなた方が我が国の領土で遂行する任務は極めて重要である。それはあなた方の天職の本質であり、わが国とわが国の主権を守る歴史的な核心である。抑止力という恒久的な態勢を維持することは崇高な使命であり、また、空域、すべての海域、そしてここ英仏海峡と北海における防護でもある。

● 13

センチネル作戦は、テロの脅威が依然として残っていることを私たちが知っているため、また、卓越した任務でもある。数日前、同胞たちに述べたように、2024 年は、パリ、マルセイユ、ポリネシアでオリンピックとパラリンピックが開催される、誇らしい年になるであろう。そして、私たちはそれを知っている。時には制約があるにせよ、それがどれほど重要なことかはわかっている。しかし、2024 年は、私が述べたように、オリンピック・パラリンピックの年であり、偉大な上陸の式典の年でもある。私は、このことがいかに重要であるかを知っている選挙で選ばれた代表者、そして多くの皆さんの前で、このことを申し上げる。15,000 人以上の軍人が、軍隊にふさわしい任務のために派遣される。この例外的な時期に、国の軍隊は互いに補い合い、任務が果たせるようにする。私は、皆さんが頼りになることを知っている。これまで以上に、軍隊は派遣の要請を受けることになるだろう。

● 14

そして、その準備のために、あなた方は軍事省を変革し続けるのである。私は、この軍事計画法の実施を大臣であるあなたに託したが、私たちは、前法案と同様、最後の 1 ユーロまで尊重し、この文書を現実のものとする。諜報機関、DGSE、DRM、DRSD が私たちの行動を啓発するために、驚くべき慎重な仕事をしているとしても、私たちを驚かせてやまない世界の機動性に法律を適用することは、挑戦であることは承知している。これまで以上に、私たちは適応し、私たちの防衛を構成するプロジェクトの長期的な性質を保証する一方で、私たちが経験している激変への解決策を見出す必要がある。ここシェルブールだけでも、哨戒艇の寄港によって海洋資源が刷新されることになる。

● 15

今朝、私は CMN グループで、機雷除去のための艦艇及び国家憲兵隊の哨戒艇 2 隻を視察した。また、これらの新艇を収容するための新しい訓練施設、新しい安全訓練センターにも 2 億ユーロを投資する予定である。また、原子力潜水艦の建造と解体を管理する産業施設も改良する予定である。コミッサリア専門学校 (l'école des spécialités du commissariat) の宿舎や原子力の軍事利用のための学校の建物の改修など、非常に合法的な日々のニーズも忘れてはいない。これは、私たちの存在、地域社会、そしてここで操業する主要な産業企

業にとって、これらのプロジェクトがいかに重要であることを示すものである。

● 16

国家レベルでは、2024 年までに 90 億ユーロ相当の設備を納入し、140 億ユーロ近くの受注を見込んでいる。新しい観測衛星 CSO-3、スコーピオン計画による 250 両の装甲車、ロケット推進手榴弾、そしてナヴァル・グループとそのパートナーであり、将来の戦略原潜 (SNLE) の建造にも携わっている、ここから目と鼻の先で建造される攻撃型潜水艦 (SNA) の納入により、我々の戦闘秩序は大きく改善されるだろう。

● 17

この機会に、私たちの軍事計画が単年度でどのような意味を持つのか、非常に具体的な例を挙げ、私たちのプログラムのダイナミックな性質と全従業員のコミットメントを示したいと思う。

● 18

装備総局 (DGA)、すべての技術者、軍隊の仕事、そして国防の基盤の刷新に貢献している労働者、技術者、エンジニアの才能に敬意を表したいと思う。フランスには稀有な才能がある。今朝、私たちは、いかに多くの若者がこのような職業に就き、魅力を感じ続けているかを目の当たりにした。これは私たち全員にとってのチャンスである。

● 19

また、サイバー情報分野への投資も増やしていく。この分野への投資を 30% 増やし、宇宙防衛や海底分野も追加投資の焦点となります。私たちはターニングポイントを予測する必要があるため、来るべき技術的破壊に直面しても革新を続けていく。この点で、私は、ジェネレーティブな人工知能の出現や、ドローンやロボットの必要性に、軍事省が強い推進力を与えていることを承知している。ウクライナでも中東でも、今後数ヶ月のうちに、低コストで大量生産されるドローンや人工知能が作戦方法を一変させ、非常に素朴で非常に革新的なシステムが登場するのは間違いない。

● 20

我々は投資し、配備しており、今年もこの分野で配備する予定である。我が軍は 2024 年以降、新しい海軍ドローンと空中ドローンを装備する予定である。これらの主要な要素に加え、わが軍の作戦即応性についてもさらなる努力が払われる。弾薬の在庫は今年 15 億ユーロ増加し、装備のメンテナンスが改善され、インフラが再生される。また、能力面でも、技術革新から能力の完全性の確保、そして最も基本的な再生に至るまで、あらゆる行動について話している。この努力は国家の義務でだった。これは今や、皆さんにとっての義務である。軍隊と情報機関には、より良い装備、よりタフな任務、より迅速な対応、そして現在進行中の激変を受け止める義務がある。そのためには、2022 年以来私が語り続け、結果を出し始めている戦争経済の勃興に尽力するメーカーが必要である。時には、まだ手探り状態であったり、あるいは意思の疎通すらままならないことがあったとしても。システムティックで体系的な現実に移行する必要がある。私はこれをはっきりと、しかし真剣に言う。国家に銀行家、投資家、保険会社としての役割を期待することで、平和の配当が得られると考える人もいた。快適な時代もあった。輸出代理店であり、保証人であり、輸出がうまくいかなかった場合の買い手でもある顧客がいたからだ。この世界はもはやそれを許さない。

● 21

ユーロサトリでの戦争経済プロジェクトの立ち上げから 1 年半が経ち、私たちは最初の成果を目の当たりにした。例えば、カエサル砲の生産時間が半減し、ラファール航空機のミストラル・ミサイルやタレス・レーダーの生産率が倍増するなど、達成されたことは、私たちに何でも不可能だと言った人々に対する最高の回答である。私たちは物事を劇的に変えた。2022 年 6 月以降、リスクを冒して挑戦してきた企業は、既存の国際的な大企業グループであれ、新興企業や中小企業であれ、ウクライナや他のパートナー国の軍隊の緊急のニーズに応えることができる。それは集団安全保障にとっても、私たちのビジネスの発展にとっても良いことである。戦略的背景の変化と、迅速に提供できることの重要性を理解するのが遅れている企業もある。この 1 年半、契約を逃すこともあった。しかし、私たち全員に必要なのは、スピード、量、革新性を向上させ、差別化する方法を知ることであり、必要であれば耐久性を向上させ、長いシリーズを生産する方法を知ることであり、また、値上げを可能にするために毎年特定の機能を再定義していた時代から脱却することである。すでに始ま

っている変革を進歩させる必要がある。私はすべてのトップに、生産と供給の課題に完全に集中するよう求めている。数年にわたる生産リードタイムに満足してはならない。何百もの手ごわい中小企業からなる下請けチェーンは、正確かつ強力に管理する必要がある。それが、この仕事の一部であるプロジェクトの要点である。このような生産文化は、防衛産業全体に浸透していなければならないし、もちろん、大臣権限で防衛産業技術基盤の舵取りを担う DGA にも浸透していなければならない。

● 22

防衛装備品については、パラダイムを変えるために、効率と性能に焦点を当てるよう管理職やチームを動員することも意味する。私たちは今、最前線に立つ自国軍や同盟国、パートナーのニーズに短いループで応える必要がある。期限を守った舵取りが不可欠である。もはや年単位ではなく、月単位、週単位で数えなければならない。コストの選択と管理は不可欠である。購入する各部品、請求する各時間、各時間給のコストは、押し付けるのではなく、コントロールしなければならない。なぜなら、軍事計画法（LPM）の 1 ユーロ 1 ユーロは有益な 1 ユーロでなければならないからである。また、軍隊との緊密な協力のもとでこれを行うべきである。軍隊は、作戦地域における彼らのニーズに照らして、この継続的な適応を助けてくれるであろう。

● 23

偉大な冒険は集団的なものであり、戦争経済ということになれば、未来は同盟とパートナーシップにある。私は何よりもまず、防衛産業・技術基盤の戦略的枠組みとして、より良いものにしなければならない欧州について考えている。これが私たちを前進させるのである。ここ数年、私たちは大きな進歩を遂げてきた。欧州基金や各種プログラム、しかし、私たちはより大きな標準化に向かう必要がある。それを考え、組織化し、推進する必要がある。しかし、私たちはすでにいくつかのヨーロッパ諸国と主要なプログラムや提携を結んでいる。ベルギーとのパートナーシップである CAMO、ドイツやスペインのパートナーたちとの将来戦闘機（SCAF）、そしてヨーロッパで参加を希望するすべての人たちである。私は、このような状況において、国家が戦争経済モードで行動し、考えなければならないことをよく理解している。私は新政権にはっきりと期待をしている。私は、エネルギーを解き放ち、企業家に対する制約を減らし、長年の停滞によって蓄積された沈殿物を取り除く努力を期

待している。これも急務であり、あらゆる分野における遅さ、遅延、手続きを見直し、より効率的なものにする必要がある。

● 24

しかし、2024年にこれらの主要な作戦地域で何が待ち受けているかを超えて、この戦争経済を超えて、能力や主要プロジェクトに関して何を配備しようとしているかを超えて、最も重要なことは、特に今年の初めに、私は厳粛かつ一貫して繰り返しのべるが、私たちの軍隊に所属する男女のコミットメントである。このようなことを言うのは自明のことであるが、私はここシェルブールで、抑止力という最も根本的かつ形而上学的な戦略機能を担う男女が訓練を受けていることをお伝えする。任務を遂行するためには、これらの戦力が必要である。だから私は彼らを注視しているのである。軍事的条件の一貫性を保証するのは国家元首なのであるから。私があなた方に期待しているのは道徳的な強さであるが、それはあなた方のコミットメントの独自性、つまり軍事性と密接に結びついてである。だからこそ私は、軍事状況評価高等委員会（HCECM）が毎年この仕事を遂行し、それが綿密に守られることを望んでいるのである。私はまた、2020年に軍事機能最高評議会（CSFM）が50周年を迎えたことにも言及したい。そして、軍人の地位評価と協議のためのモデルは関連性がある。耳を傾ける必要がある。人材確保が逼迫している今、異動などの提案、労働・生活条件の改善、キャリアパスのよりダイナミックで個別化されたもの、家族の世話、給与の公平性と遅れを取らないことをよりよく理解することができる。あなた方の懸念を前面に押し出す軍首脳からのメッセージ、HCECMの調査や独立した分析、軍機能を監督する評議会の考察など、そのシグナルに注意を払い続けることを、私は期待している。

● 25

軍制度（Militarité）、魅力、忠誠は手を取り合うものでなければならない。この地位の基本を守る者として、私は経済状況と社会の変化が求める適応に気を配っている。我々は、軍隊が直面する課題に対応できる軍事的即応態勢を保証しなければならない。皆さん、フランスは再生の歴史を持つ偉大な国である。スダン（Sedan：仏東部）の廃墟、解放の余波、脱植民地化の余波など、歴史の節目節目で、軍隊はその使命を果たすために適応してきた。解放から80周年を迎える今年、私たちが歴史上の長老たちに捧げる賛辞は、私たちがその後継者であることを思い出させてくれるであろう。今述べたように、Dデーの記念式典は準備

中であり、パトリシア・ミラルレス国務長官（Mrs.Patricia MIRALLÈS）の仕事に感謝したい。また、フィリップ・エティエンヌ氏（Mr.Philippe ÉTIENNE）を団長とするミッションが、多くの地方議員とともに、これらの式典の準備に協力してくれていることにも感謝したい。今こそ、退役軍人を再び私たちの関心の中心に据える必要がある。この精神が省内で広く共有されていることを嬉しく思う。しかし、私たちはまた、この精神を時代に適応させ、最適化、経済化、時には超専門化、同じグループ内での顧客とサプライヤーの関係などの結果として発展してきた障害や複雑さを取り除く必要がある。基本に立ち返り、陸群兵士、水兵、空軍兵士の一人ひとりが国家から託された任務を成功させることができるようにする必要がある。この赤い糸を断ち切ることはできない。歴史の悲劇がそれを教えてくれている。だから、この遺産を胸に、明日も昨日と同じように、君たちは自分の技能と伝えるメッセージを通じて、国家の結束に重要な役割を果たすことになる。なぜなら、精神的な強さとは、あなた方が国民に伝え返すことができるものでもあるからである。何世紀にもわたって受け継がれてきた先人たちの記憶、彼らの努力と犠牲の遺産の担い手として、あなた方は間違いなく、意味を与え、受け継ぐことの意味を誰よりも知っている。そして社会は、あなた方が本質的な管理者であるこれらの価値観が、あなた方がそれを広めてこそ意味を持つことを期待している。私が特に考えているのは、[普遍的国民奉仕（SNU）](#)を充実させるための軍隊の能力である。遠心力がますます強くなる世界と社会の中で、自らの運命に立ち向かう決意を固めた社会を強固なものにするためには、これは不可欠なことである。これは過去の戦いではない。フランス人の不屈の精神は、皆さんとともに耐え忍ばなければならない。私はそれを知っている。あなた方の旗は世界中に掲げられている。それらはまた、献身と奉仕の旗であり、フランス人が常に結集できるものでもある。そして、あなた方の役割、ひらめき、SNU への参加、予備役の重要性、軍隊が不可欠な役割を果たすすべての動員努力は、今後何年にもわたって決定的なものとなるだろう。

● 26

陸軍兵士、水兵、空軍兵士、民間防衛の方、実業家の皆さん、2024 年が皆さんにとって、私たちにとって、決意と決断と誇りの年になりますように。国家に奉仕する誇りを、私はあなた方に望む。そして、フランスが私に託したこの重大な責任を担っていることを誇りに思う。